

3号機周辺1時間当たり3181マイクロシベルト観測(単位に注意、マイクロ、 $\mu$  Sv/h)  
午前4時22分、5号機の核燃料保管プールの冷却水循環機能が復活  
午後2時5分、ハイパレスキュー隊3号へ放水再開、連続7時間予定  
20日、午前3時40分まで13時間放水し続けた  
午後7時、1,2号機への配電盤兼変圧器と外部からの送電線と接続作業完了  
午後10時、6号機の核燃料保管プールの冷却機能回復  
午後11時、3号機付近、1時間当たり2828マイクロシベルト( $\mu$  Sv/h)

3月20日、午前8時20分、陸海空自衛隊消防車11台による4号機への放水開始  
午後4時 送電線が外部と繋がった2号機の電力設備で通電を確認  
午後6時半、自衛隊消防車地上から4号機へ放水開始、連続6時間予定  
午後9時半、緊急消防援助隊(東京消防庁)3号機へ連続6時間放水予定  
21日午前4時3号機への放水終了

3月21日、午前6時40分、自衛隊による地上から4号機へ放水開始  
午前8時40分、4号機への放水終了  
午前11時半、5号機の配電盤まで受電、6号機にも電気が流せる状態になる  
午後6時20分頃、2号原子炉建屋から白煙上がる。

3月22日午前8時、電源復旧作業開始  
午後3時10分、緊急消防援助隊3号機へ放水開始、午後4時終了  
午後5時17分、東電は生コン圧送機(中国から輸入)を使い4号機保管プールへ放水  
午後10時43分、3号機の中央制御室に外部電源が供給され、照明点灯

3月23日 午前10時、東電生コン圧送機で4号機の保管プールへ放水  
午後4時20分頃、3号機から黒煙が上がり、3,4号作業員退避

3月19日～22日	東京消防庁	参加人員	139名
3月19日～22日	大阪市消防局	"	53
3月22日～24日	横浜市消防局	"	67
3月24日～26日	川崎市消防局	"	36
3月26日～28日	名古屋消防局	"	34
3月29日～30日	京都市消防局	"	40

3月17日～4月まで 陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の消防車  
放水作戦終了

使用済み核燃料一時貯蔵プールへの冷却水循環システムが回復して、正常に冷却が出来るようになった。(3月20日外部電源と繋がったが、その後内部電路修復が必要だった)